

環境・インフラ



鐘ヶ江 倫彦
環境・インフラ
事業部門長

主要分野

- 環境・インフラプロジェクト
- 電力インフラ
- 物流保険

組織名

- 環境・インフラ事業総括部
- 環境・インフラプロジェクト事業本部
- 電力インフラ事業本部
- 物流保険事業本部

事業部門長メッセージ

目指す姿

市場ニーズに応じたインフラ事業の拡大と物流機能の拡充を通じ、社会の発展に貢献するとともに、長期安定的な収益基盤の拡大を目指します。

目指す姿を実現する成長戦略

海外電力ビジネス、海外再生可能エネルギー発電事業、国内電力事業、海外工業団地ビジネスといった重点分野を中心に経営資源を投入し、収益基盤の拡大を図ります。海外電力ビジネスでは、アジア・中東・米州・サブサハラを中心に事業拡充に取り組みます。再生可能エネルギー発電事業は洋上風力を中心に拡大、国内電力事業では自社電源拡充・小売販売規模拡大に注力します。海外工業団地ビジネスは既存団地拡張と新規開発を進めます。また、将来の収益の柱とすべく、水事業や電池事業を育成していきます。

Q BBBO2014について総括してください。

A インドネシアのタンジュン・ジャティBプロジェクトなどの海外電力事業が堅調に推移し、当期利益は前年度比増益を達成しました。

海外電力ビジネスでは、UAEの複合火力発電所の商業運転開始、クウェート及びガーナの複合火力発電事業への参画を果たしたほか、マレーシア、ベトナムにおいて大型EPC案件を受注しました。再生可能エネルギー発電事業では、国内、米国、南アフリカで建設を進めてきた風力、太陽光発電所の商業運転開始、ベルギー洋上風力発電への参画を実現し、国内バイオマス発電所の建設を開始しました。海外工業団地ビジネスでは、既存工業団地の拡張、ミャンマーにおける新規開発を進めるなど、収益基盤拡大に向けた取り組みは着実に進展しました。戦略的な資産入替として、英国水事業の権益一部譲渡や、国内外の太陽光・風力発電の事業会社の売却を行いました。



マンジュン超々臨界圧石炭火力発電所(マレーシア)

【2014年度の実績】

当期利益は、海外電力事業が堅調に推移したことなどにより、前年度比38億円増益の229億円となりました。

業績ハイライト

	2013年度	2014年度	2015年度予想
売上総利益	637	645	670
営業活動に係る利益	192	205	—
持分法による投資利益	52	53	—
当期利益（親会社の所有者に帰属）	191	229	250
基礎収益	156	175	—
資産合計	5,970	5,972	—

(億円)

Q BBBO2017での施策について教えてください。

A 成長戦略の実行、適切なアセットマネジメントにより、収益基盤を強化・拡充し、成長モメンタムを持続します。

海外では、新興国の経済成長・人口増加を背景に、電力や水などのインフラ需要はますます増大しており、また、持続可能な社会構築のため、環境配慮型ビジネスへの要請が高まっています。国内では、2016年4月に予定されている電力小売の全面自由化により、事業機会の拡大が期待されます。また、日本企業の海外進出に伴い、物流サービスや工業団地整備などの需要が旺盛となっています。

海外電力ビジネスでは、アジア、中東、米州など豊富な実績と深い知見を有する地域に重点的に取り組むとともに、サブサハラなど新興市場での案件開発に注力します。再生可能エネルギー発電事業では、欧州の洋上風力発電を中心に事業基盤を拡大するとともに、戦略的な資産入替を進めます。国内電力事業では、小売全面自由化を見据え、バイオマス発電など競争力のある自社電源の拡充、小売販売規模拡大に取り組みます。物流事業では、国内外一貫での総合的サポートを通じ、全社ビジネス拡大に貢献、海外工業団地ビジネスでは、既存工業団地の拡張・機能高度化、新興国での新規案件開発に取り組みます。水事業では新規コンセッション事業案件の開拓に注力、また、電池事業では、国内外で蓄電池を用いたエネルギーマネジメント事業の実証事業に取り組んでいきます。

Q 事業活動を通じたCSRの取り組みを聞かせてください。

A 風力や太陽光などの再生可能エネルギー発電事業を通じ、地域経済・社会の発展に貢献しています。

南アフリカは、急速な経済成長・人口増加による電力不足、石炭発電依存によるCO₂排出量増加が懸念されています。こうした課題の解決に貢献すべく、国内外での風力発電事業で培った経験、知見を活かし、当社主導で現地パートナーと100メガワット風力発電所を建設、2014年8月に商業運転を開始しました。20年の操業期間を通じ、事業収益の一部を地域に還元し、社会貢献のために活用します。また、小学校の課外授業を受け入れるなど、地域に根ざした再生可能エネルギー発電事業への取り組みを継続していきます。



小学校の課外授業受け入れの様子

環境・インフラ

主要分野の概況

環境・インフラプロジェクト分野

目指す姿

高効率で環境負荷の少ないインフラ整備プロジェクトを推進し、持続的発展可能な社会・産業の実現に貢献します。

事業環境

国内では、電力小売自由化等の規制緩和が進み事業機会の拡大が期待されます。再生可能エネルギー発電事業については、各国の導入優遇制度の変更リスクはあるものの、環境負荷の少ない電源の需要は増加が続くと見られます。また、安全で衛生的な水需要の増大が見込まれます。

強みと戦略

国内電力事業では、これまでに培った経験と当社の総合力を活かし、競争力ある電源の追加確保と小売販売規模拡大を図ります。再生可能エネルギー発電では、米国や南アフリカ、ベルギー等での案件開発経験を活かし、優良資産積み増しと戦略的資産入替による収益力強化を進めます。水事業では、英国上水道事業の経験を活かし、優良案件への参画を目指します。

足元の取り組み

日本、米国、南アフリカで建設を進めてきた風力、太陽光発電所が商業運転を開始し、ベルギーでは高い成長が期待される洋上風力発電への参画を果たしました。電力小売分野では、全面自由化を見据えたJ:COMとの協業等、当社グループの総合力を発揮して取り組んでおり、また、自社電源としてバイオマス発電所を建設中です。



男鹿風力発電所(日本)

電力インフラ分野

目指す姿

発電事業とEPCを両輪とし、電源開発分野における主導的地位を強固なものとしします。

事業環境

世界的な電力需要は、アジア、中東、サブサハラを中心とした新興国の人口増加・経済成長を背景として、今後さらに高まっていくことが予想されます。

強みと戦略

変わりゆく市場のニーズとその変化を的確に把握し、長年の海外電力ビジネスの経験を通じて獲得した、発電所の設計から建設、発電事業の開発から運営までの知見・ノウハウを結び付けることで、当社がより高度かつ多様な機能を発揮できるプロジェクトの提案、組成に注力します。アジア、中東、米州といった実績と深い知見を持つ地域に重点的に取り組むとともに、サブサハラ等の新規市場への挑戦を継続します。

足元の取り組み

クウェート初の民活型発電・造水プロジェクトであるアズール・ノースプロジェクト及びガーナにおける同国最大級の複合火力発電所を、それぞれ2016年、2017年の商業運転開始を目指して建設しています。電力EPC分野では、台湾やマレーシア、ベトナムで大型案件の建設を進めています。また、電池事業においては、国内外で蓄電池を用いたエネルギーマネジメント事業の実証事業に取り組んでいます。



アズール・ノース発電・造水プロジェクト(クウェート)

物流保険分野

目指す姿

物流・保険機能の拡充を通じた全社収益への貢献と、海外工業団地ビジネスの基盤拡大を目指します。

事業環境

当社グループのビジネスの大型化に伴い、より高度な物流・保険機能が求められています。アジアを中心とする新興国には、多数の日系企業をはじめとした世界各国の企業が進出しており、物流サービスや工業団地の需要が拡大しています。

強みと戦略

総合商社のグローバルかつ多様な商材の物流経験と、各種大型プロジェクトに関する保険リスクマネジメントのノウハウを活かし、当社グループの事業全体の価値向上に貢献するとともに、独自収益の創出を図ります。海外工業団地ビジネスでは、既存団地の拡張と機能高度化を図るとともに、新興国での案件開発を進め、収益基盤拡大を目指します。

足元の取り組み

物流機能高度化、効率経営の追求のため、国内外の物流事業会社の組織改編を行っています。また、海外の新規大型プロジェクトに対する物流面での総合的な支援を通じ、全社収益拡大に貢献しています。海外工業団地ビジネスでは、日緬官民共同で取り組んでいるミャンマーでの工業団地開発を主導的立場で推進しており、インド及びベトナムで新規の工業団地開発を進めています。



ティラワ特別経済区(ミャンマー)

プロジェクト紹介

米国における再生可能エネルギー発電事業の取り組み



メスキートクリーク風力発電所(米国)

当社は、海外における再生可能エネルギー発電事業をコアビジネスの一つと位置付け、米国、欧州、南アフリカ、中国で事業の開発運営に携わってきました。

米国における当社の再生可能エネルギー発電事業への取り組みは、2009年にテキサス州において既設のスタントン風力発電所の権益を取得したことに始まります。その後、オレゴン州におけるシェファーズフラット風力発電所、カリフォルニア州における世界最大級のデザートサンライト太陽光発電所への事業参画や米国再生可能エネルギー開発大手Duke Energy Renewablesとの共同事業であるシマロン/アイアンウッド風力発電所などを通じて、この分野での知見を蓄積し、経験を深めてきました。

2015年4月に商業運転を開始した米国テキサス州西部におけるメスキートクリーク風力発電所は、資金調達から売電先の確保等まで当社が主導して開発を推進し、当社単独で建設を進めた案件です。米国では一般消費者向けビジネスを行う企業が積極的に再生可能エネルギーを調達するトレンドがあります。当社もこの動きを捉え、本発電所で発電した電力の大部分について、米国菓子・ペットフード製造販売大手であるMars Inc.と20年の長期売電契約を締結しました。このように新たな売電の仕組みに挑戦するとともに、環境維持・改善に寄与していきます。